

県央・湘南の 環境と共生する都市づくり



No.28

NEWS ○ 2011.2

● 新幹線新駅の実現をめざす、環境共生の都市づくり通信 ●

NEWS 今年は、新駅実現に向けた「チャンス的一年」！

P2

新幹線新駅・リニア・相模線の同盟会が共同で講演会「鉄道整備と地域の将来」を開催しました。

P3~4

平成22年度「夢はこぶ新幹線・夢ひらくまち」絵画コンクール

P5

ツインシティの取組み状況

P6

平成22年度「夢はこぶ新幹線・夢ひらくまち」

絵画コンクール 神奈川県知事賞受賞作品



低学年の部 後藤 莉子さん（寒川町立寒川小2年）の作品



高学年の部 古木 希実さん（平塚市立松原小6年）の作品



中学年の部 大竹 海悠さん（平塚市立富士見小4年）の作品

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

神奈川県、相模原市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、県商工会連合会

新駅の可能性を高める リニア中央新幹線の手続きが着実に進捗

現在、国の交通政策審議会が設置した中央新幹線小委員会（以下、「小委員会」という）において、中央新幹線の整備計画の決定などについて審議が行われていますが、平成22年12月に中間とりまとめが公表され、「東海道新幹線の「のぞみ」型の旅客輸送が担っている輸送ニーズの多くが中央新幹線に転移することにより」、「新駅の設置などの可能性も生じ」ることが示されました。

一方、JR東海は、平成22年5月の小委員会で「リニア中央新幹線開業後は、東海道新幹線のダイヤの過密度が緩和されるため、現在、応えられない請願駅設置要望など、新駅設置の余地が高まる。」と意見を述べております。

リニア中央新幹線の手続きが着実に進捗していることで、寒川町倉見地区の新幹線新駅の実現の可能性が高まってきています。



リニア中央新幹線



東海道新幹線

＜中央新幹線開業までのフロー＞

S48年11月	基本計画の決定
H2年2月	地形・地質等調査の指示
H20年10月	// の報告
H20年12月	4項目調査の指示
H21年12月	// の報告
H22年2月	交通政策審議会に諮問
H22年3月	// が審議開始
H22年12月	// が中間とりまとめを公表

(以下、今後の見通し)

H23春	交通政策審議会が答申
H23年内	営業主体・建設主体の指名
	整備計画の決定
	建設の指示
	(環境影響評価)
	工事実施計画の認可
	着工
	開業

H23年は、
新幹線新駅の
実現に向けた
「チャンスの年」

- 左のフローを見ていただくとわかるとおり、平成20年以降、手続きが着実に進捗しており、実現までの道筋が具体的に見えてきました。
- JR東海は、自己資金による実施を前提に、東京から名古屋までの開業時期がH39年（2027年）となる試算を発表しています。

新駅の実現に向けて

本年春には交通政策審議会から中央新幹線に関する答申が出され、その後、年内には国土交通大臣が、中央新幹線の営業主体・建設主体の指名、整備計画の決定、建設の指示を行う見込みであり、今年のリニア中央新幹線が実現に向けて大きく前進することから、新幹線新駅実現の可能性も更に高まる年になります。

こうしたことから、今年も、本期成同盟会結成以来の「**チャンスの年**」であるため、新駅の実現という大きな成果に向けて、皆様方のご理解とご支援をいただきながら、精力的に活動を展開していきます。

今年も、新駅実現に向けた「チャンスの年」！

新幹線新駅・リニア・相模線の同盟会が共同で講演会「鉄道整備と地域の将来」を開催しました。

「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」は、県央・湘南地域の鉄道網整備に向けて、「リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会」及び「相模線複線化等促進期成同盟会」と共同で、講演会「鉄道整備と地域の将来」を、10月に海老名会場、11月に平塚会場で開催しましたので、その概要をご紹介します。

海老名会場の開催概要

日時 平成22年10月25日(月) 午後2時から4時
場所 オークラフロンティアホテル海老名3階「ラ・ローズ」
主催 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会 (以下、「新駅同盟会」という。)
共催 リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会 (以下、「リニア同盟会」という。)
相模線複線化等促進期成同盟会 (以下、「相模線同盟会」という。)

参加者 140名

概要

- ・主催者あいさつ 神奈川県県土整備局 高村環境共生都市部長
- ・活動紹介 事務局から3同盟会(新駅同盟会・リニア同盟会・相模線同盟会)の活動紹介を行いました。
- ・講演 「高速鉄道と都市鉄道による地域の将来像」 講師 芝浦工業大学工学部 岩倉 成志 教授

《講演概要》

【県央・湘南地域の将来像】

県央・湘南地域は、多彩な自然が残され、産業の集積、大学の立地が多いポテンシャルが高い地域であり、近い将来、リニア中央新幹線と東海道新幹線の2つの高速鉄道をチョイスでき、相模線の高速化などの都市鉄道の充実や高速道路の整備により、我が国でも稀な交通要衝地帯になっていく。

【九州新幹線の事例から得られる教訓】

九州新幹線からの教訓を挙げたが、県央・湘南地域は、横浜港や羽田空港から至近な場所にあり、新幹線もリニアもチョイス可能で、色々な地域から人・物・情報を集めて発信できる重要な地域となるため、日本だけでなく世界の市場の中で考えるといった地域戦略が大事なポイントである。また、先行的に都市を整備しておくことが新幹線を進めるために重要で、都市も良くなり、鉄道の価値も上がっていく。新幹線とリニアを結びつけて地域をどう発展させていくか、という議論もしていくべきであり、一度決めたらあきらめな



い、走り回って合意形成し、理解を得ていくことも大切である。

【東京圏の都市鉄道の事例から得られる教訓】

特に大切なのは「都市側の整備事業との連携」であり、まちづくりと一体でどうやってやれるかが大事で、新幹線新駅やリニアが来たから、相模線が複線化したからではなくて、前倒しでやるのが成功する秘訣である。

難しいプロジェクトも、色々なアイデア、多くの人の力を結集してできており、この会場にも頑張っている方がおられるので、そういう方も巻き込んでいきたい。

【皆さんの力でよいまちに】

県央・湘南地域は、豊かで多様な自然があり、産業集積や観光のポテンシャルが高い地域であるとともに、神奈川県民は、個性的で耐性がある、かつ柔軟で楽しくやっている方々だと感じており、そういう方々が住む非常にいい場所なので、皆さんの力で良いまちにしていきたい。



平塚会場の開催概要

日時 平成22年11月11日(木) 午後2時から4時
場所 平塚プレジール 6階「若松」
主催 神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会
後援 リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会、相模線複線化等促進期成同盟会
参加者 130名

概要

- ・主催者あいさつ 神奈川県県土整備局 高村環境共生都市部長
- ・活動紹介 事務局から3同盟会(新駅同盟会・リニア同盟会・相模線同盟会)の活動紹介を行いました。
- ・講演 「鉄道整備とまちづくりによる地域の発展」 講師 産業能率大学情報マネジメント学部 斉藤 進 教授

《講演概要》

【駅機能と地域拠点】

鉄道駅の機能は、効率性を追求し、画一化・均一化していった時期もあったが、80年代以降、まちづくりの中で駅を再考し、まちのにぎわい拠点として駅の魅力向上を強める方向が模索され、乗り降りだけのものから、都市活動を支える地域の生活文化ステーションへと求められる姿が変わってきた。

【駅周辺整備の事例から】

新横浜駅周辺のまちづくりでは、具体的なデザインガイドを定めている。事前協議を重要視し、デザインガイドに協力してもらう姿勢を明確にすることで、全体の統一感、魅力あるまち並みが生まれている。

埼玉県北鴻巣では、居住者が中心となりNPOを立ち上げ、緑化の維持管理を中心とした自主管理・運営を始めており、時間とともにまちの資産価値が高まっていく工夫がみられ、まちづくりを成功に近づけている。

【ツインシティ構想】

ツインシティ構想には5つの方針があるが、一番



中心になるのは環境共生モデル都市だと考えている。私に関わった企業・大学懇談会では、地域の企業・大学などが参加し、48項目について、今の技術水準から環境共生のためにどのようなことが可能なか、などを提言した。

私は、ツインシティ構想に求められている視点として「守って残すこと」「時間を掛けて育むこと」「共に考えていくこと」を挙げているが、議論は一方的ではなく、双方向での熟議が非常に重要である。

【皆さんの議論によるまちづくりが大切】

これから駅を中心にまちづくりを考える時には、地域の交流拠点・核になるような駅をいかに整備するか、地域の人々がまちを管理し、運営する要素をいかに入れ込むかが重要である。

ツインシティは新しいまちづくりであり、専門的な技術や知識と同時に、生活する方々の知恵や工夫も入れ込まなければならぬので、皆さんで議論することが非常に大切である。

パネル展示の実施

両会場では、3同盟会による県央・湘南地域における鉄道整備に関連した「パネル展示」を行いました。

海老名会場



平塚会場



●講演会の概要や、当日ご参加の方々からいただいたご意見等を、同盟会ホームページで紹介しています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/07/0715/kankyoku-kyousei/shin-eki/22koben.html>

平成22年度「夢はこぶ新幹線・夢ひらくまち」絵画コンクール

平塚市長賞



低学年の部 小林隼さん
(平塚市立港小2年)



中学年の部 高橋芽衣さん
(平塚市立富士見小4年)



高学年の部 上田新太郎さん
(平塚市立港小5年)

寒川町長賞



低学年の部 木村和哉さん
(寒川町立南小1年)



中学年の部 矢野 遥さん
(寒川町立南小3年)



高学年の部 倉橋陸人さん
(寒川町立小谷小6年)

この絵画コンクールは、「夢はこぶ新幹線・夢ひらくまち」をテーマに、平塚市と寒川町の小学生を対象として実施しており、平成22年度は、25校630作品の応募がありました。
県知事賞の受賞作品を表紙で紹介していますが、ここでは平塚市長賞・寒川町長賞・ツインシティ賞の受賞作品を紹介します。

ツインシティ賞



低学年の部 綿貫壮流さん
(平塚市立松延小2年)



中学年の部 左野浩志朗さん
(寒川町立一之宮小3年)



高学年の部 窪田唯希さん
(寒川町立旭小6年)

平塚市美術館 (H22.10.28~31)

展示会場では平塚市の入賞者の表彰式を行いました。



寒川町民センター (H22.11.13~17)

展示会場では寒川町の入賞者の表彰式を行いました。



展示会の様子

ツインシティの取組み状況

『ツインシティ』は、新駅を誘致する「寒川町（倉見地区）」と相模川対岸の「平塚市（大神地区）」とを「(仮称) ツインシティ橋」でつなぐ、『東海道新幹線新駅』の受け皿となる新たなまちで、広域的な交流と連携の窓口となる都市の形成のため、当面の目標である都市計画決定を目指して取り組んでいます。

ここでは、面整備について地元調整の状況を紹介します。



ツインシティ(大神地区)の状況

「ツインシティ大神地区土地区画整理組合設立準備会」が、組合施行の土地区画整理事業の事業化に向けた検討を進めています。

準備会では、地権者個々の土地利用の意向を把握するため、平成22年3月より、戸別ヒアリングを実施しており、12月には地権者全体説明会を開催しました。

ツインシティ(倉見地区)の状況

寒川町は新幹線新駅誘致地区を中心とした新駅周辺整備検討区域の設定について、平成22年3月に町議会に報告するとともに、9月に地元説明会を開催し、「検討のためのたたき台」として地元へ提案しました。

また、平成22年10月から、地権者を戸別に訪問し、意向の把握を行っています。

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会について

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会（平成8年5月発足）では、寒川町倉見地区への東海道新幹線新駅の誘致活動を行っています。同盟会を構成する県市町の窓口は、次のとおりです。

県・市町担当窓口		厚木市	まちづくり計画部都市政策課	046-223-1511(代)
神奈川県	県土整備局環境共生都市部環境共生都市整備課	伊勢原市	都市部都市総務課	0463-94-4711(代)
相模原市	都市建設局まちづくり計画部都市鉄道・交通政策課	海老名市	まちづくり部駅周辺対策課	046-231-2111(代)
平塚市	まちづくり事業部まちづくり事業課	座間市	企画財政部政策課	046-255-1111(代)
藤沢市	計画建築部都市計画課	綾瀬市	企画部企画課	0467-77-1111(代)
茅ヶ崎市	都市部都市政策課	寒川町	都市建設部新幹線新駅対策課	0467-74-1111(代)

お問い合わせ先：神奈川県 県土整備局 環境共生都市部 環境共生都市整備課

電話045-210-6038 FAX045-210-8879 E-mail(下記ホームページの「問合せ先」をクリックして「問い合わせフォーム」をご利用ください)

期成同盟会のホームページはこちら(↓)です。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/07/0715/kankyoku-kyousei/shin-eki/index.html>